

本屋でんすけ 2015. Jun.

にやわら版

小野正嗣

でんすけ

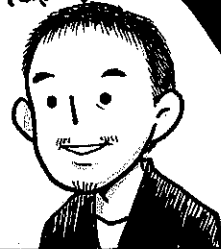
Take Free

気まぐれに発行。

No.8

元気が
にやんすけ。

先生、ほく
でんすけです。



新企画! 対談にやわら版!!

でんすけが作家とおしゃべり?!

祝! 第1回目のゲストは
第152回芥川賞を受賞した
小野正嗣先生!!



先生の最新刊のことや、純文学に
ついてアレコレ聞いちゃいました!!
こんなゆるゆる対談見たことないかも?!

はしまりはしまりー!!

ほくでんの本も2回読ませましたの
1回目の時は結末にビビッて
感情がうまく出てこなかったわ
ですが、2回目には改めている
わけじゃないか? 気づいて涙が
出ましたの
先生、このお話し、小さい子の
大きな「思い込み」の話
だったんですね。



おお!! その子供の思い込み、
ていうのはこの小説を見事に
表していると思います
√、何かに使わせてもらおう
かなあ。



残された者たち

大分の過疎が「極限まで」
進んだ「葉落がモデル」の
話で、主人公は小学校の
杏奈先生とその先生の
たっぴとりの生徒がおるが
謎の男の子「エーくん」を
連れて来たこと「物語が」
はしまるんて「よね
で、どうやらその子は山の
（向こうの）ガイコツジーン（外国人）
集落から来た、ヒョ



2015. 6月某日...
小野正嗣 × でんすけ



それでは先生、アロハお願い
します。まず、「残された者たち」
のあらすじを教えてください。

はい。あ、僕が言うのね?!



そ... そうですかよ! 著者でしょう?!



え、本当ですか? やったー!

子供の思い込みで自分自身も
変えちゃうけど、世界も変えちゃう
ところがあると思うんですよね。
子供って自分の思っている通りに
世界が回ると想像しちゃう
ところあるじゃない?



純粋な思い込み、ですね。
そうですね、この本には先生の
本では珍らしく底抜けに明るい
強烈なキャラの校長先生が「出て
きますね。ちよと小野先生が」
干らついたらへですか?... (笑)

スミマセン... 準備不足... 先生... 先生...! po
でんすけ...?

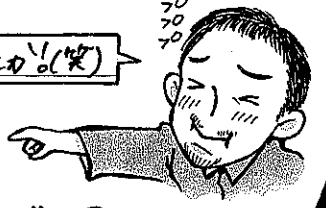
コバ

ソレ、ハナハに言わねえよ(笑)
でもまあ、「ユ・ド・ト、イ・ウ・ン、フ・ライ！」
は流行ると思つたんだけどなあ
「ソレ」も「ハナハ」も「モ」も「イ」も
ってやつなあ、バカ配アセ「バカ」
ジャンも



「これから流行らせましょ(笑)」

どっかに書いていて、POPとか(笑)



難しい? 大丈夫!!
バカ配アセ「バカ」ジャン!!
アタタも読める!!

続いては「純文学」って何だろう? という
キ「モン」についていろいろ聞きました。

残された者たち

小野正嗣著 集英社文庫

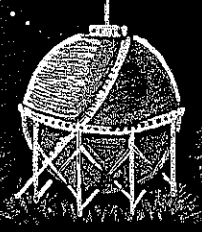
過疎が「極限まで」進んだ「集落」
かおるが「連れてきた」"お友達"

イトーくんは
ガイコツジントだった

時に子供思い込みは
世界を変えてしまう。

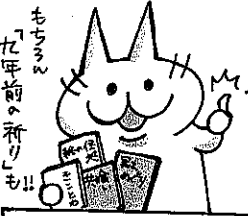
芥川賞受賞後
初文庫。

¥440+税



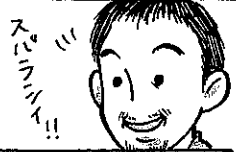
先生、どうして芥川賞受賞作
の様な、いわゆる純文学って
読みにくく感じるのでしょうか?

たしかに何か難しそうで、
読者のハードルが「高い」って
のはあるかもしれないね。



実はほんとにもう感じていたの
ですが、今回、良い機会だと思
っていくつか読んでみました。

おー、エライな にゃんすけ。

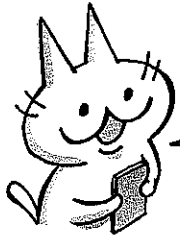


どの本もハラハラとドキドキする様な
面白さはないけれど、「ほんとに
楽しめた」のは「理解する
のに時間がかかった」ポイントも
ありました。

そうそう、思考とか感情とか
風景が「普通の言葉で書か
れているようで、何かワケ
がわからない感じがするからね。

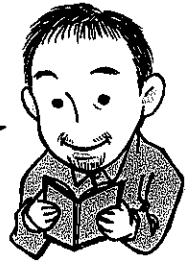


読んで思ったのが、「普段ミステ
リやSFストーリーなんかを読み慣
れてると、登場人物たちが「勝手
に話を進めてくれる」って読み手
としてはオツク楽ですよ。



でもそういう感じで「読めないのが」
「純文学」なのかよあ、と思いま
しに「この人物はどう思っている
のか」とSFとか「考えなくては
いけない」でしょう? それが「面倒
だ」と「つまらない、読みにくい」
という感情につながってしまうの
ではないでしょうか?

どうにもストーリー中の物語の
で、正解のある問いかけには
もって「1回読んでから問いに
対する答えが出て終わって
るところもあるからね。それに
対して僕達がやるような、
いわゆる「純文学」っていうのは
再読に耐える、あらずしも
除いては「どうも言葉を通じて
読者に「考え」感「じる」機
会を与えられる」という話だ、
言えるのかなあ。



「純文学」というジャンルの
あるの、日本にはないですか?

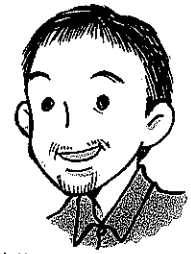
考えさせるような言葉は「よね。
フランスでは単にリテラチュール(文学)
だし。純文学とエンタメ小説の
境界は曖昧だよ。長土の問題
な気もする? 芥川賞みたいな
短編だと短いぶん文章に凝れる
じゃない? 直木賞みたいな長編だと
明確な物語があって読者も
飽きさせない様にしないともな
いね。





純文学とエンタメの違いって何でしょう？エンタメは読者を楽しませる意味合いが強いのでは？

エンタメには、エンタメの言うように、どうかと読者を楽しませようとする気持ちはあるけれど、あんなあんなと、それはそれでいいことだと思ってるので、僕達みたいな書手だと、読者を喜ばせて書くところもあるかなって勝手に思ってます。

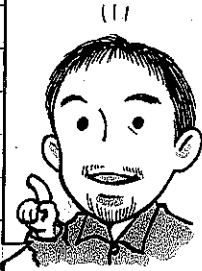


◎純文学とは大衆小説に対して「娯楽性」より「芸術性」に重きを置いた小説。大衆小説はその真逆のコンセプトだよ。

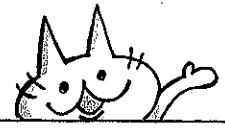


書きたいものを書く、ことですね。

本質的にはエンタメの書手もそうだと思うけど、ね。だって優れたエンタメ小説って文章にもっとハリやカクがあるじゃない？物語を運ぶ「文体と書手」が力を込める文体、運ぶ物語を運ぶ「時の文体」で、なめらかな水かたまりに透明だと思ってる。それに対して力を込める文体は泥水だ。たいてい熱湯だ。たいていねちねちにして、透明じゃないのは確か。



◎純文学には定義が「無い」ことを事前に調べる。わかるように、あえて質問しています。



先生はどられてすか？

僕？
かどわい香りの紅茶かな...



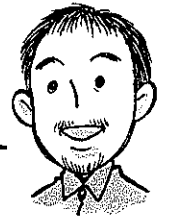
「九年前の祈り」にミミスガが来た時点で「ねちよりしてると思ってるすけと」(笑)

西か奈子さんが「言葉にならなものを言葉にした際、全部を捉えきれぬわけじゃないという感覚を大切にしたい。この趣旨のことを言った言葉、っていうカタチを与えた時、確かに世界の見え方が変わった。世界の奥行きが良くなった。それ、そこで「満足」して止まっちゃいけないよ。自分の表現したものが必ずしもすべてを表現しきれぬわけじゃない。だからこそ読者が存在する。読者が想像力を働かせて作品の世界を思い描いていく。その世界のほうに作家の書いたものよりも表現した方がたもに接近してる、ことあるわけ。



純文学、でもわーっ、と何かに引き込まれるような表現力が無いじゃない？すか。ソコがわかるとすこーと楽しんですね。

そのもわーっが「楽しんでるように」なるといわゆる文体的な大体に触れていけば、そのうちこの辺にヒタカがあるとか、イテコ柄だとかね、わかるようになるよ。考えることで楽しいことのはずなのに、みんな面倒くさがるでしょう？本当は面倒くさくないはずなんよ。えね。常に受動的、っていうのもどうかと思ってるよ。

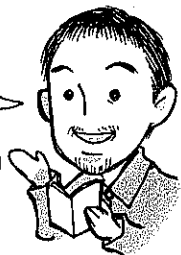


「まじか」と「終の住処」良かったっす。



「ほくも初めて読んでみて、普段体験しないようなことを感じ、考えることがいっぱい出来て楽しかった。読書の幅を広げるために、せいかく買った文庫からチャレンジしてみよう。先生のオススメ本はありますか？」

- 巨匠とマルカ リータと下 若波文庫
 - マイケル・K 若波文庫
 - 懐かしい年への手紙 講談社文芸文庫
 - 舞踏会へ向かう三人の農夫 ますす書房
- この本は読んでみる価値あると思います。



わあ、ありがとうございます。ほくは、まず「巨匠とマルカ」リータを買っちゃった。さっさと読んでみよう。

水死人の帰還



先生、「水死人の帰還」のあらすじを教えてください

これはあらすじを言うのか？
難しくねの表題作の「水死人の帰還」は、失踪したオジイの内面を掘りかきける小説なんですよ。



先生の小説には子供がよく出て来ますが、今回はどうですか？

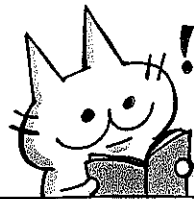
今回はオジイか？と“うしてオバア(妻)との間に子供が産まれたかった”って、うろ？、って回想する、って意味で“子供”が出てくるね。そういえば、“子供”の存在が重要な点で、今言われて気がついたよ。



難！まの前半は本当にいいとばあはあしか出て来ない話よ。

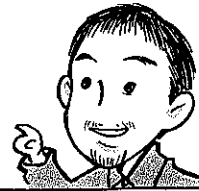


注：そなた「おかーはあしのこといってー」が二行の語句にありませぬよ66



この本には「残された者たち」にも出てくる“おのるまわ”のお話も入ってますね。

そうそう、おのるまわ??でも英語しゃべってるよ。



先生が「はじめて書いた小説も」



楽しんでたの、最初にそこから読んでみようかな。

「約、20年前ですよ」

この本には先生が学生時代に書き、新潮学生小説コンクールで「奨励賞」を受賞した作品も入ってます。

水死人の帰還

小野正嗣著 文藝春秋

オジイは失踪する。大きなシャベルを持って

——一体、何のために？——

「もう言うな。なにも言うな。」

言わなくてもおれにはわかちやる。

表題作や著者が初めて書いた小説を含む6篇。

さあ、原石に触れよう。



¥1650+税

さて、今回は対談をお送りしました。いかがでしたか？(まは)は今回、普段読まないジャンルの本を読んだことで、今まで「読まざら」いとしたこと気づかされた。これは、「読んで、よくなる」なかつたら、時間をおいてもう一度チャレンジしてみよう。



あっ、名言!! (しかもおぼせてます)

にゃんすけ! またね。

良いところ全部おぼれた。しかも、ほくてんすけですよ。



最後に先生からみなさまへのメッセージ。にゃんすけで受けと話をし、読者が「注意」と想像力を駆使して言葉に能動的に働きかければ、なるかな作品が、僕自身に人だと思えました。でも、僕自身にそんな作品が書けるかどうか...。読んで確かめてくれますか？

小野正嗣



小野正嗣先生! どうもありがとうございました。Twitter: densuke-neko